

松風 (コード 7979)

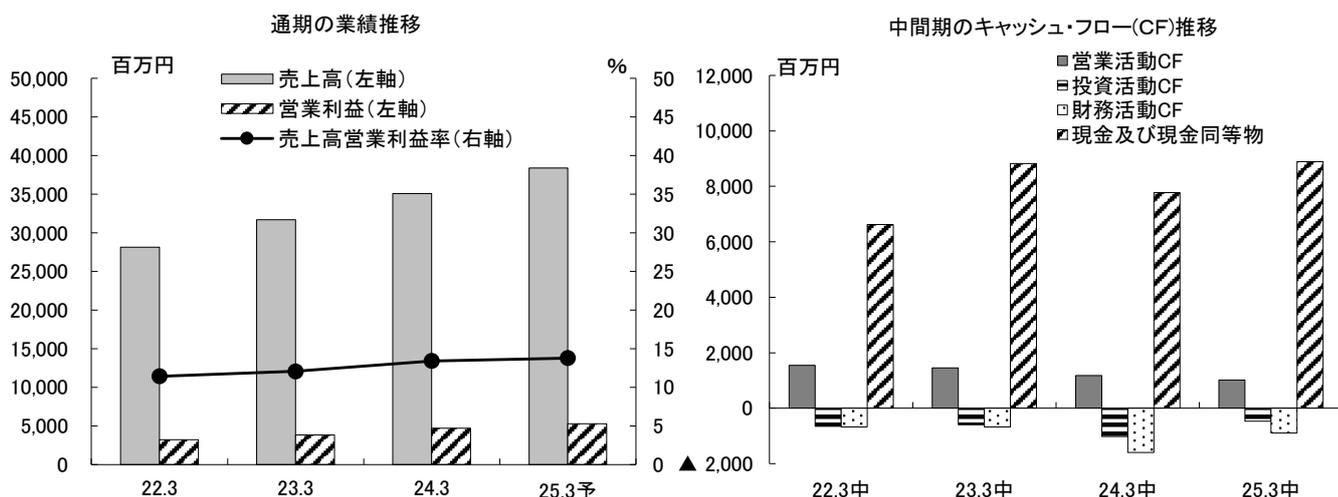
◆各決算期の中間期業績推移(連結) (株式分割を考慮)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	13,867	2,000	42.4	6.5	1,544	▲648	▲678	6,627
23.3	15,831	2,237	59.9	7.5	1,450	▲599	▲671	8,822
24.3	16,447	2,155	44.0	10.0	1,180	▲1,017	▲1,601	7,775
25.3	18,887	3,042	66.6	18.0	1,012	▲474	▲893	8,890

◆通期業績推移(連結) (株式分割を考慮。25.3 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	28,137	3,217	71.6	19.5	3,736	▲1,288	▲1,074	8,208
23.3	31,678	3,824	88.1	28.5	3,170	▲1,290	▲1,457	8,830
24.3	35,080	4,709	103.1	31.0	3,089	▲1,295	▲2,096	9,024
25.3予	38,395	5,293	124.9	44.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



25年3月期中間期の業績概況…25年3月期の中間期(24年4~9月)は、主力のデンタル関連事業が好調に推移し、売上高が前年同期に比べて約15%増、営業利益が約41%増となった。

当期の業績は、売上高188億8,700万円(前年同期比14.8%増)、営業利益30億4,200万円(同41.2%増)、経常利益30億600万円(同25.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益(以下、中間純利益)23億6,400万円(同51.7%増)となった。特別利益として投資有価証券売却益3億7,800万円(前年同期は無し)を計上したことから、中間純利益は大幅な増益となった。

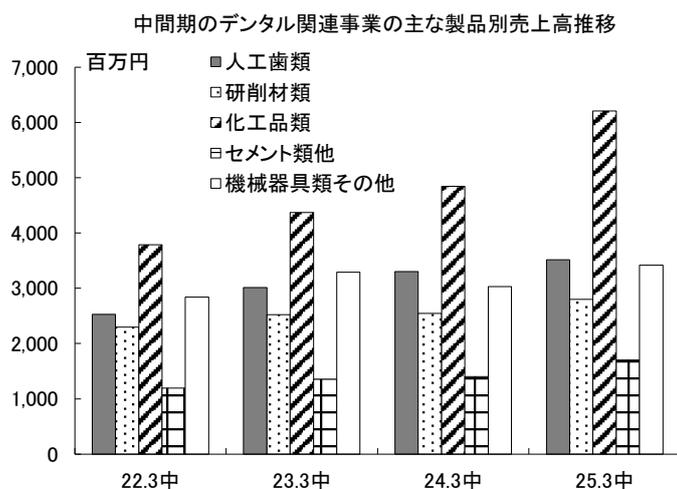
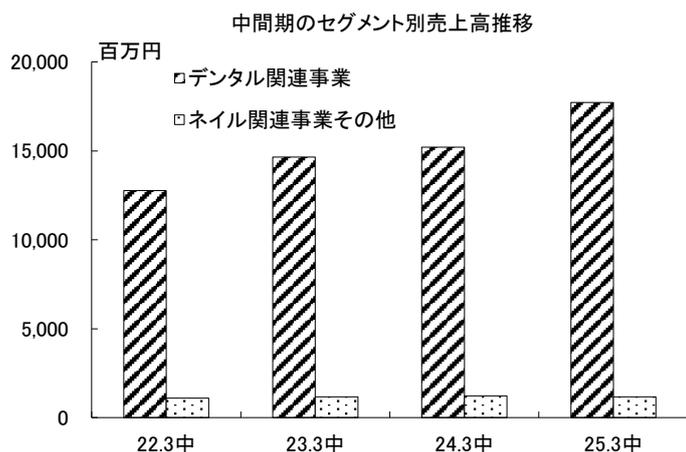
セグメント別の売上高は、デンタル関連事業177億1,700万円(前年同期比16.5%増)、ネイル関連事業11億2,200万円(同6.3%減)、その他4,700万円(同31.7%増)。また、セグメント別の営業利益は、デンタル関連事業30億7,300万円(同45.1%増)、ネイル関連事業4,000万円の損失(前年同期は2,800万円の黒字)、その他600万円(前年同期比5.8%増)となった。デンタル関連事業の主な製品別売上高は、人工歯類35億1,300万円(同6.4%増)、研削材類27億9,900万円(同9.8%増)、化工品類62億700万円(同28.1%増)、セメント類他17億300万円(同21.3%増)、機械器具類その他34億1,800万円(同12.9%増)。デンタル関連事業において最も売上を大きく伸ばしたのが化工品類で、生産体制の強化によって供給制約は解消されており、海外中心に充填修復材が大幅増となったことに加え、国内では大白歯全般のCAD/CAM

冠で健保適用の「松風ブロック PEEK」の需要が堅調に推移。機械器具類では国内での CAD/CAM 機械類の需要が回復したほか、歯科向けデジカメ「アイススペシャル C-V」の販売も好調に推移した。海外では、米国で研削材類の在庫調整が終了し、需要が通常状態に回復。中国では化工品類における充填修復材中心に大幅に売上を伸ばし、欧州ではドイツ、イタリアが好調に推移。同事業の国内売上高は 69 億 4,600 万円（同 10.9% 増）、海外売上高は 107 億 7,000 万円（同 20.3% 増）となった。一方、ネイル関連事業では、主力のジェルネイル製品の売上減で国内売上高は同 2.7% 減に、また、米国でのインフレに伴う消費の落ち込みや台湾でのジェルネイル製品の販売伸び悩みで海外売上高は同 10.9% 減となった。

キャッシュ・フロー（以下、CF）の状況については、当期末現在の現金及び現金同等物の残高は 88 億 9,000 万円（前年同期末比 14.3% 増）となった。営業活動による CF は、税金等調整前中間純利益 33 億 8,500 万円（前年同期比 41.8% 増）、棚卸資産の増加額 10 億 7,100 万円（同 26.3% 増）などにより、10 億 1,200 万円の収入（同 14.2% 減）となった。投資活動による CF は、有形固定資産の取得による支出 5 億 3,100 万円（同 54.4% 減）などにより、4 億 7,400 万円の支出（同 53.4% 減）になった。財務活動による CF は、長期借入金の返済による支出 8,100 万円（同 89.9% 減）、配当金の支払額 7 億 4,500 万円（同 0.3% 増）などにより、8 億 9,300 万円の支出（同 44.2% 減）となった。

**25 年 3 月期の通期業績見通し**…25 年 3 月期の通期業績見通しは、売上高 383 億 9,500 万円（前期比 9.4% 増）、営業利益 52 億 9,300 万円（同 12.4% 増）、経常利益 56 億 400 万円（同 9.5% 増）、親会社株主に帰属する当期純利益（以下、当期純利益）44 億 3,400 万円（同 21.3% 増）で、会社側発表の期初予想値（売上高 377 億 2,100 万円、営業利益 48 億円、経常利益 48 億 9,400 万円、当期純利益 38 億 3,800 万円）から 24 年 8 月 2 日付けで増額修正されている。

セグメント別の売上高は、デンタル関連事業 357 億 9,900 万円（同 9.7% 増）、ネイル関連事業及びその他の事業が合わせて 25 億 9,500 万円（同 5.7% 増）で、デンタル関連事業の主な内訳は、人工歯類 74 億円（同 8.1% 増）、研削材類 56 億 6,600 万円（同 7.7% 増）、化工品類 119 億 1,200 万円（同 12.5% 増）、セメント類他 35 億 5,300 万円（同 14.8% 増）、機械器具類その他 70 億 9,900 万円（同 6.5% 増）などとなっている。



本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。